

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2016年1月29日から2026年1月20日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>米国イノベーション・マザーファンド</b> 米国の金融商品取引所に上場する中小型株
当ファンドの運用方法	■米国の中小型株を主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■原則として、為替ヘッジを行いません。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ピクトリー・キャピタル・マネジメント・インクへ委託します。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>米国イノベーション・マザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年1月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

年1回決算型は複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。  
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

# 米国イノベーション・ ファンド (年1回決算型)

【愛称：アメリカン・アイドル(年1回)】  
【運用報告書(全体版)】

(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

第 **6** 期

決算日 2022年1月20日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 米国イノベーション・ファンド(年1回決算型)【愛称：アメリカン・アイドル(年1回)】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(参考指数) Russell 2500 グロス・インデックス (配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
2期(2018年1月22日)	12,964	0	15.7	150.94	24.7	86.0	414
3期(2019年1月21日)	12,014	0	△ 7.3	144.43	△ 4.3	97.8	500
4期(2020年1月20日)	15,244	0	26.9	181.31	25.5	94.6	656
5期(2021年1月20日)	18,567	0	21.8	248.71	37.2	97.7	389
6期(2022年1月20日)	18,148	0	△ 2.3	233.60	△ 6.1	95.0	463

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参考指数) Russell 2500 グロース・インデックス (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率	
(期 首) 2021年 1月20日	18,567	—	248.71	—	97.7
1月末	18,225	△ 1.8	243.90	△ 1.9	98.1
2月末	19,039	2.5	249.10	0.2	95.1
3月末	18,643	0.4	247.92	△ 0.3	92.6
4月末	20,406	9.9	261.49	5.1	97.4
5月末	19,486	4.9	252.56	1.5	98.8
6月末	20,649	11.2	269.06	8.2	97.8
7月末	20,338	9.5	260.63	4.8	97.2
8月末	20,530	10.6	267.28	7.5	94.5
9月末	20,170	8.6	263.70	6.0	97.5
10月末	21,457	15.6	278.77	12.1	98.0
11月末	20,796	12.0	270.28	8.7	98.1
12月末	20,866	12.4	269.83	8.5	98.3
(期 末) 2022年 1月20日	18,148	△ 2.3	233.60	△ 6.1	95.0

※騰落率は期首比です。

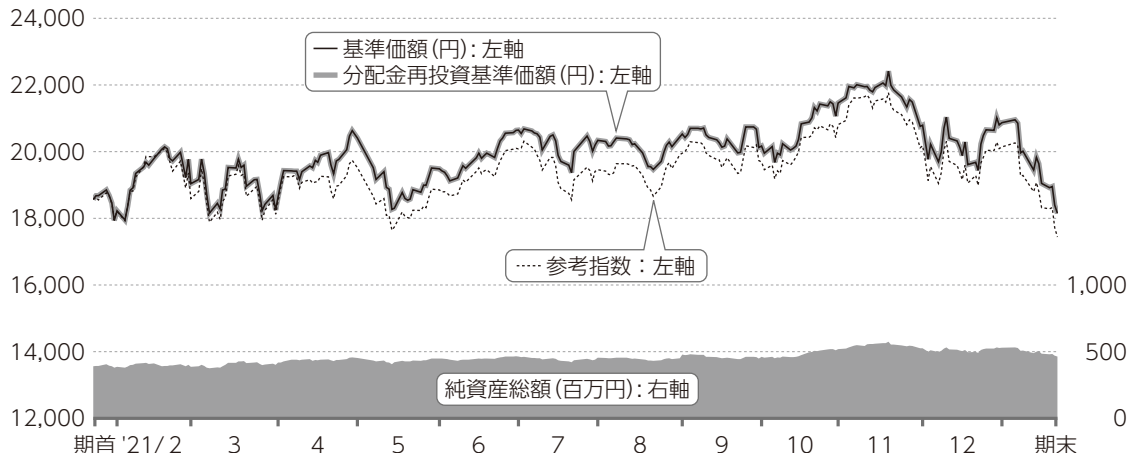
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	18,567円
期末	18,148円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-2.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、Russell 2500 グロース・インデックス(配当込み、円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資を行いました。

上昇要因

- 航空宇宙関連機器メーカーのレイセオン・テクノロジーズが開発する精密誘導システムに発振器の採用が決定したほか、米国中型株の代表的指数であるS&Pミッドキャップ400株価指数に組み入れられたサイタイム、好決算に加えて追加経済対策の成立期待から個人消費拡大が想定され買われたテンピュール・シーラー・インターナショナル、市場予想を大幅に上回る4-6月期決算を発表したウエスト・ファーマシューティカル・サービス等が上昇したこと
- 米ドル高となったこと

下落要因

- シェア拡大を狙うズームやマイクロソフトとの競争激化が不安視されたリングセントラル、軟調な決算が続いたツイスト・バイオサイエンス、コロナ禍での大学入学者数の減少等を理由に10-12月期の業績見通しを大幅に引き下げたチェグ等が下落したこと

投資環境について(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

期間における米国株式市場は、中小型株は下落しました。また、為替市場は対円で米ドル高となりました。

### 米国株式市場

期間において米国株式市場では、大型株は上昇して、中小型株は下落しました。期間の初めは新型コロナウイルスのワクチン普及を背景に株式は上昇しましたが、2021年2月中旬以降、「コロナ後」の景気回復を織り込み長期金利が急上昇する中、成長期待が先行するグロース株から景気敏感なバリュー株への資金還流が進みました。その後、予想を上回る2021年1-3月期決算の発表が相次ぎ株式は上昇基調に転じたものの、インフレ高進や新型コロナのデルタ型変異ウイルスによる感染拡大への懸念から上値が抑えられました。10月に入ると、堅調な7-9月期の決算を背景に景気回復への楽観が広がり、株式は反発しました。しかし11月後半からは、オミクロン型変異ウイルスが世界的な景気回復の足かせになるとの警戒から投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、年明け以降F R B(米連邦準備制度理事会)による金融引き締め観測が高まり、中小型株は大型株対比で大きく劣後しました。

### 為替市場

為替市場では、円安米ドル高となりました。米国金利の低下や変異ウイルスの感染拡大を受けて一時的に円高となる局面があったものの、世界的な景気回復への期待の高まりや、米国の金融政策正常化の前倒し観測により日米金利差が意識されたことなどから、対円で米ドル高となりました。

ポートフォリオについて(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

## 当ファンド

主要投資対象である米国イノベーション・マザーファンドを期間を通じて高位に組み入れました。

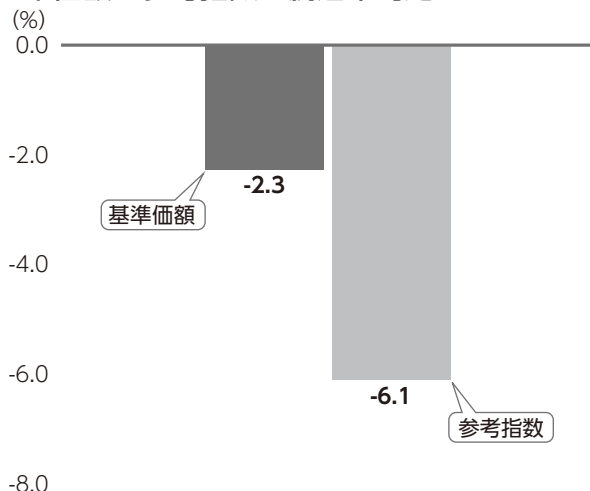
## 米国イノベーション・マザーファンド

インプラントや歯列矯正といった今後の成長が見込まれる分野に強みを持つエンビスタ・ホールディングス、温室効果ガス削減の流れの中でLNG(液化天然ガス)需要増加の恩恵を受けることが期待されるチャート・インダストリーズ、卸売から直接販売型にビジネスモデルの転換を進めることで収益性を改善させたイエティ・ホールディングス等を新規に組み入れました。

一方、外国人観光客に注力したタイムシェア・サービス事業の回復見通しに不透明感が強まったマリオット・バケーションズ・ワールドワイド、目標株価に達したペンテア、時価総額が拡大し投資対象外となったジェネラック・ホールディングス等を全部売却しました。

ベンチマークとの差異について(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数として Russell 2500 グロース・インデックス(配当込み、円換算)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第6期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,148

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。



## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### 米国イノベーション・マザーファンド

2022年について、景気が緩やかに拡大することを想定しています。このような環境下では低金利に伴う金融相場から個別企業のファンダメンタルズ(業績、財務内容などの基礎的諸条件)を反映した業績相場へ回帰する公算が高く、イノベーションによる生産性の向上や伝統的企業から市場シェアを奪う製品の開発を続けるテクノロジーやヘルスケア関連の成長企業に注目が集まるとみえています。

当ファンドは、在宅勤務の広がりに伴う人々の働き方の変化、そして力強い消費者需要に後押しされて革新的な技術やサービスを創出して成長する情報技術株のオーバーウェイトを維持する方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

# 米国イノベーション・ファンド(年1回決算型)【愛称：アメリカン・アイドル(年1回)】

## 1万口当たりの費用明細(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>450円</b>	<b>2.255%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <b>期中の平均基準価額は19,963円です。</b>
(投信会社)	(274)	(1.375)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(165)	(0.825)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(11)	(0.055)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>16</b>	<b>0.082</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> <b>売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料</b>
(株式)	(16)	(0.082)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>0</b>	<b>0.001</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> <b>有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金</b>
(株式)	(0)	(0.001)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>25</b>	<b>0.127</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
(保管費用)	(21)	(0.107)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(3)	(0.013)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(1)	(0.007)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>492</b>	<b>2.464</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

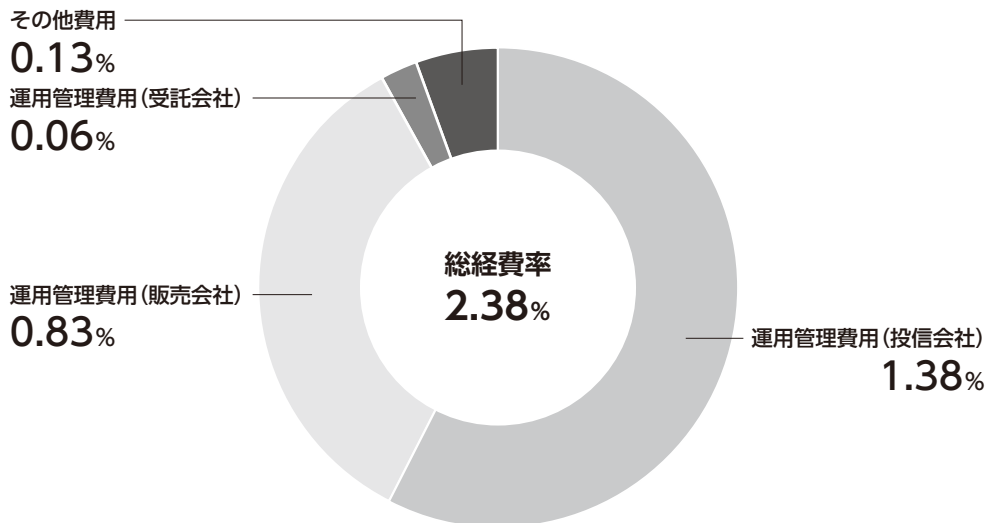
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.38%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国イノベーション・マザーファンド	千口 106,070	千円 242,553	千口 71,309	千円 162,399

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

項 目	当 期
	米 国 イ ノ ベ ー シ ョ ン ・ マ ザ ー フ ァ ン ド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5,344,599千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,702,500千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.97

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年1月20日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国イノベーション・マザーファンド	千口 185,685	千口 220,446	千円 462,981

※米国イノベーション・マザーファンドの期末の受益権総口数は1,178,075,281口です。

■ 投資信託財産の構成

(2022年1月20日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
米国イノベーション・マザーファンド	千円 462,981	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,818	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	468,800	100.0

※米国イノベーション・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(2,453,342千円)の投資信託財産総額(2,497,854千円)に対する比率は98.2%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.31円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月20日現在)

項目	期	末
(A) 資産		468,800,167円
コール・ローン等		198,820
米国イノベーション・マザーファンド(評価額)		462,981,199
未収入金		5,620,148
(B) 負債		5,668,230
未払解約金		53,777
未払信託報酬		5,554,263
その他未払費用		60,190
(C) 純資産総額(A-B)		463,131,937
元本		255,195,982
次期繰越損益金		207,935,955
(D) 受益権総口数		255,195,982口
1万口当たり基準価額(C/D)		18,148円

※当期における期首元本額209,937,202円、期中追加設定元本額135,207,656円、期中一部解約元本額89,948,876円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2021年1月21日 至2022年1月20日)

項目	当	期
(A) 配当等収益	△	127円
受取利息		60
支払利息	△	187
(B) 有価証券売買損益	△	18,179,992
売買益		10,876,740
売買損	△	29,056,732
(C) 信託報酬等	△	10,374,475
(D) 当期損益金(A+B+C)	△	28,554,594
(E) 前期繰越損益金		72,038,748
(F) 追加信託差損益金		164,451,801
(配当等相当額)	(	103,707,838)
(売買損益相当額)	(	60,743,963)
(G) 合計(D+E+F)		207,935,955
次期繰越損益金(G)		207,935,955
追加信託差損益金		164,451,801
(配当等相当額)	(	103,742,779)
(売買損益相当額)	(	60,709,022)
分配準備積立金		72,038,748
繰越損益金	△	28,554,594

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は4,144,045円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0
(c) 収益調整金		135,897,207
(d) 分配準備積立金		72,038,748
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)		207,935,955
1万口当たり当期分配対象額		8,148.09
(f) 分配金		0
1万口当たり分配金		0

## ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当	期

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# 米国イノベーション・マザーファンド

第6期（2021年1月21日から2022年1月20日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主に米国の金融商品取引所に上場する株式に投資します。</li> <li>■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</li> <li>■運用指図にかかる権限をビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクへ委託します。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数） Russell 2500 グロス・インデックス （配当込み、円換算）		株式組入比率	純総資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
2期（2018年1月22日）	13,570	18.1%	150.94	24.7%	85.2%	2,718百万円
3期（2019年1月21日）	12,842	△ 5.4	144.43	△ 4.3	96.7	3,267
4期（2020年1月20日）	16,631	29.5	181.31	25.5	93.7	3,637
5期（2021年1月20日）	20,986	26.2	248.71	37.2	97.8	2,065
6期（2022年1月20日）	21,002	0.1	233.60	△ 6.1	95.0	2,474

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参考指数) Russell 2500 グロース・インデックス (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2021年 1月20日	円 20,986	% —	248.71	% —	% 97.8
1月末	20,619	△ 1.7	243.90	△ 1.9	98.1
2月末	21,553	2.7	249.10	0.2	94.9
3月末	21,152	0.8	247.92	△ 0.3	92.3
4月末	23,175	10.4	261.49	5.1	96.9
5月末	22,182	5.7	252.56	1.5	98.1
6月末	23,536	12.2	269.06	8.2	96.5
7月末	23,240	10.7	260.63	4.8	97.1
8月末	23,514	12.0	267.28	7.5	94.3
9月末	23,151	10.3	263.70	6.0	97.1
10月末	24,663	17.5	278.77	12.1	97.5
11月末	23,963	14.2	270.28	8.7	97.3
12月末	24,087	14.8	269.83	8.5	97.5
(期 末) 2022年 1月20日	21,002	0.1	233.60	△ 6.1	95.0

※騰落率は期首比です。

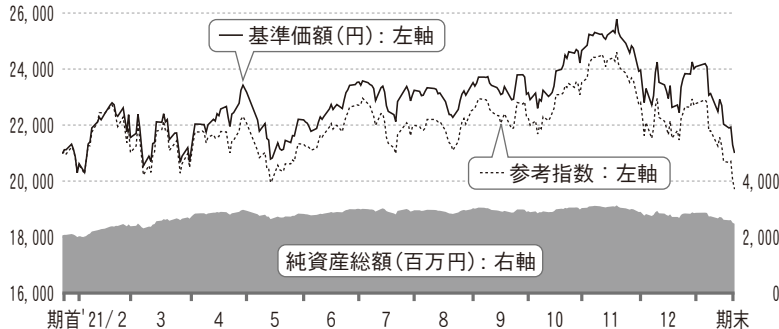
※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。



# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2021年1月21日から2022年1月20日まで）

### 基準価額等の推移



期首	20,986円
期末	21,002円
騰落率	+0.1%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、Russell 2500 グロース・インデックス（配当込み、円換算）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年1月21日から2022年1月20日まで）

当ファンドは、主として米国の金融商品取引所に上場する中小型株に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空宇宙関連機器メーカーのレイセオン・テクノロジーが開発する精密誘導システムに発振器の採用が決定したほか、米国中型株の代表的指数であるS&amp;Pミッドキャップ400株価指数に組み入れられたサイタイム、好決算に加えて追加経済対策の成立期待から個人消費拡大が想定され買われたテンピュール・シーリー・インターナショナル、市場予想を大幅に上回る4-6月期決算を発表したウエスト・ファーマシューティカル・サービス等が上昇したこと</li> <li>・ 米ドル高となったこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シェア拡大を狙うズームやマイクロソフトとの競争激化が不安視されたリングセントラル、軟調な決算が続いたツイスト・バイオサイエンス、コロナ禍での大学入学者数の減少等を理由に10-12月期の業績見通しを大幅に引き下げたチェグ等が下落したこと</li> </ul>

▶ 投資環境について（2021年1月21日から2022年1月20日まで）

期間における米国株式市場は、中小型株は下落しました。また、為替市場は対円で米ドル高となりました。

**米国株式市場**

期間において米国株式市場では、大型株は上昇して、中小型株は下落しました。期間の初めは新型コロナウイルスのワクチン普及を背景に株式は上昇しましたが、2021年2月中旬以降、「コロナ後」の景気回復を織り込み長期金利が急上昇する中、成長期待が先行するグロース株から景気敏感なバリュー株への資金還流が進みました。その後、予想を上回る2021年1－3月期決算の発表が相次ぎ株式は上昇基調に転じたものの、インフレ高進や新型コロナのデルタ型変異ウイルスによる感染拡大への懸念から上値が抑えられました。10月に入ると、堅調な7－9月期の決算を背景に景気回復への楽観が広がり、株式は反発しました。しかし11月後半からは、オミクロン型変異ウイルスが世界的な景気回復の足かせになるとの警戒から投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、年明け以降FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め観測が高まり、中小型株は大型株対比で大きく劣後しました。

**為替市場**

為替市場では、円安米ドル高となりました。米国金利の低下や変異ウイルスの感染拡大を受け一時的に円高となる局面があったものの、世界的な景気回復への期待の高まりや、米国の金融政策正常化の前倒し観測により日米金利差が意識されたことなどから、対円で米ドル高となりました。

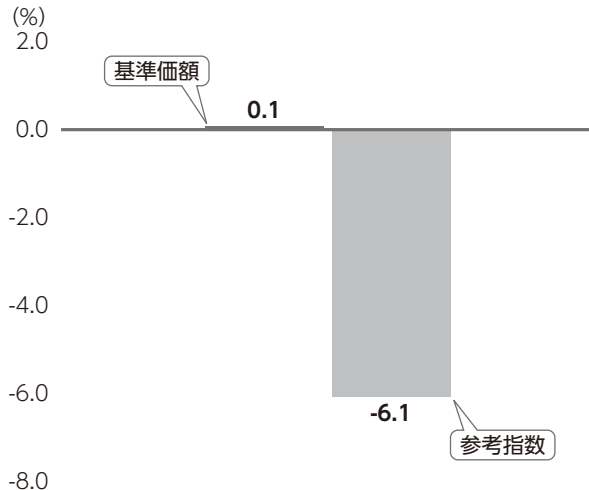
▶ ポートフォリオについて (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

インプラントや歯列矯正といった今後の成長が見込まれる分野に強みを持つエンビスタ・ホールディングス、温室効果ガス削減の流れの中でLNG（液化天然ガス）需要増加の恩恵を受けることが期待されるチャート・インダストリーズ、卸売から直接販売型にビジネスモデルの転換を進めることで収益性を改善させたイエティ・ホールディングス等を新規に組み入れました。

一方、外国人観光客に注力したタイムシェア・サービス事業の回復見通しに不透明感が強まったマリOTT・バケーションズ・ワールドワイド、目標株価に達したペンテア、時価総額が拡大し投資対象外となったジェネラック・ホールディングス等を全部売却しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてRussell 2500 グロース・インデックス（配当込み、円換算）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 2 今後の運用方針

2022年について、景気が緩やかに拡大することを想定しています。このような環境下では低金利に伴う金融相場から個別企業のファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）を反映した業績相場へ回帰する公算が高く、イノベーションによる生産性の向上や伝統的企業から市場シェアを奪う製品の開発を続けるテクノロジーやヘルスケア関連の成長企業に注目が集まるとみています。

当ファンドは、在宅勤務の広がりに伴う人々の働き方の変化、そして力強い消費者需要に後押しされて革新的な技術やサービスを創出して成長する情報技術株のオーバーウェイトを維持する方針です。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株 式)	19円 (19)	0.081% (0.081)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用)	25 (24)	0.112 (0.105)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	44	0.194	

期中の平均基準価額は22,810円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 3,460.2 ( 56.58)	千アメリカ・ドル 25,710 ( -)	百株 3,306.19	千アメリカ・ドル 22,527

※金額は受渡し代金。

※ ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5,344,599千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,702,500千円
(c) 売 買 高 比 率(a) / (b)	1.97

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年1月21日から2022年1月20日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年1月21日から2022年1月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

米国イノベーション・マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2022年1月20日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	6.71	7.16	296	33,881	半導体・半導体製造装置
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	40.15	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOCRYST PHARMACEUTICALS INC	—	225	327	37,396	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MASIMO CORP	8.2	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ENTEGRIS INC	37.75	32.75	417	47,701	半導体・半導体製造装置
HORIZON THERAPEUTICS PLC	66.55	53.6	471	53,942	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DIAMONDBACK ENERGY INC	—	31.85	400	45,768	エネルギー
MACOM TECHNOLOGY SOLUTIONS H	—	58.7	393	44,990	半導体・半導体製造装置
MIDDLEBY CORP	—	22.8	441	50,491	資本財
HEALTH EQUITY INC	29.3	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PROOFPOINT INC	15.9	—	—	—	ソフトウェア・サービス
VIAVI SOLUTIONS INC	176.3	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WINGSTOP INC	—	19.75	286	32,787	消費者サービス
BOINGO WIRELESS INC	63.7	—	—	—	電気通信サービス
MKS INSTRUMENTS INC	22.55	28	464	53,089	半導体・半導体製造装置
NORDSON CORP	3.8	—	—	—	資本財
PAYLOCITY HOLDING CORP	—	15.05	293	33,526	ソフトウェア・サービス
POOL CORP	8.8	7.95	390	44,589	小売
HOSTESS BRANDS INC	79.45	—	—	—	食品・飲料・タバコ
COUPA SOFTWARE INC	10	—	—	—	ソフトウェア・サービス
AXON ENTERPRISE INC	9.15	18.2	241	27,576	資本財
ACI WORLDWIDE INC	87.86	93.51	312	35,744	ソフトウェア・サービス
MERCURY SYSTEMS INC	50.3	—	—	—	資本財
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	—	29.45	484	55,357	各種金融
CHURCHILL DOWNS INC	11.65	24.95	524	59,966	消費者サービス
LATTICE SEMICONDUCTOR CORP	64.35	51.1	301	34,410	半導体・半導体製造装置
FRESHPET INC	28.7	27.85	249	28,470	食品・飲料・タバコ
FOCUS FINANCIAL PARTNERS-A	85.45	88.95	468	53,584	各種金融
FIVE9 INC	24.6	29.25	374	42,770	ソフトウェア・サービス
ENPHASE ENERGY INC	13.6	22.45	302	34,536	半導体・半導体製造装置
IAC/INTERACTIVE CORP	19.75	22.35	294	33,672	メディア・娯楽
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI	21.75	—	—	—	小売
BANDWIDTH INC-CLASS A	23.3	30.1	193	22,168	電気通信サービス
OCULAR THERAPEUTIX INC	180.1	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SMILEDIRECTCLUB INC	193.3	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CASTLE BIOSCIENCES INC	45.25	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
VARONIS SYSTEMS INC	—	107.7	392	44,837	ソフトウェア・サービス
SITIME CORP	—	11.3	245	28,028	半導体・半導体製造装置
WILLSCOT MOBILE MINI HOLDING	—	121.95	450	51,480	資本財
OMNICELL INC	—	20.5	311	35,614	ヘルスケア機器・サービス
SAIA INC	—	16.3	459	52,579	運輸
CRYOPORT INC	—	48.05	205	23,513	ヘルスケア機器・サービス
CROCS INC	—	35.15	399	45,612	耐久消費財・アパレル
SHOCKWAVE MEDICAL INC	—	11.3	163	18,702	ヘルスケア機器・サービス
CODEXIS INC	—	108.3	232	26,604	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HALOZYME THERAPEUTICS INC	129.7	128.85	434	49,709	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEYOND MEAT INC	13.45	—	—	—	食品・飲料・タバコ

# 米国イノベーション・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
LHC GROUP INC	17.8	21.3	260	29,792	ヘルスケア機器・サービス	
WENDY'S CO/THE	82.4	—	—	—	消費者サービス	
TANDEM DIABETES CARE INC	21.75	34.8	430	49,259	ヘルスケア機器・サービス	
GW PHARMACEUTICALS LTD	23.25	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROYALTY PHARMA PLC- CL A	20.9	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WIX.COM LTD	5.1	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
NOVOCURE LTD	32.05	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	—	40.2	565	64,627	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FAIR ISAAC CORP	6.6	6.8	298	34,108	ソフトウェア・サービス	
CHARLES RIVER LABORATORIES	11	8	269	30,788	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DOLBY LABORATORIES INC-CL A	24.65	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
GODADDY INC - CLASS A	28.76	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	12.5	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WESTERN ALLIANCE BANCORP	29.95	42.9	486	55,610	銀行	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	53.95	32.7	381	43,636	資本財	
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	19.05	—	—	—	消費者サービス	
BLACK KNIGHT INC	43.7	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
RINGCENTRAL INC-CLASS A	16.15	20.55	346	39,645	ソフトウェア・サービス	
CHEGG INC	44.35	—	—	—	消費者サービス	
FTI CONSULTING INC	22.5	—	—	—	商業・専門サービス	
PLANET FITNESS INC - CL A	24.45	57.3	471	53,945	消費者サービス	
ENCOMPASS HEALTH CORP	28.35	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
MSA SAFETY INC	16.4	—	—	—	商業・専門サービス	
GENERAC HOLDINGS INC	11.35	—	—	—	資本財	
ZENDESK INC	39.3	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO	91.85	131.65	495	56,659	資本財	
DYNATRACE INC	104.05	131.2	663	75,812	ソフトウェア・サービス	
PENUMBRA INC	—	9.4	205	23,494	ヘルスケア機器・サービス	
TEMPUR SEALY INTERNATIONAL I	148.85	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
YETI HOLDINGS INC	—	53.8	373	42,741	耐久消費財・アパレル	
FLOOR & DECOR HOLDINGS INC-A	—	37.1	379	43,422	小売	
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	—	45.4	223	25,496	ソフトウェア・サービス	
Q2 HOLDINGS INC	—	37.45	241	27,637	ソフトウェア・サービス	
AVAYA HOLDINGS CORP	—	213.6	406	46,440	ソフトウェア・サービス	
BUILDERS FIRSTSOURCE INC	—	66.65	484	55,335	資本財	
ENVISTA HOLDINGS CORP	—	78	341	39,061	ヘルスケア機器・サービス	
TENET HEALTHCARE CORP	—	27.65	213	24,390	ヘルスケア機器・サービス	
CHART INDUSTRIES INC	—	18.1	229	26,276	資本財	
PENTAIR PLC	62.6	—	—	—	資本財	
TREX COMPANY INC	29.95	20.75	206	23,624	資本財	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	25.95	16.5	319	36,483	資本財	
AVANTOR INC	—	155.25	576	65,928	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REGAL REXNORD CORP	—	15.35	257	29,385	資本財	
GLOBANT SA	—	8.95	213	24,411	ソフトウェア・サービス	
合計	株数・金額	2,670.93	2,881.52	20,567	2,351,123	
	銘柄数<比率>	61	58	—	<95.0%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## ■ 投資信託財産の構成

(2022年1月20日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 2,351,123	% 94.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	146,730	5.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,497,854	100.0

※期末における外貨建資産（2,453,342千円）の投資信託財産総額（2,497,854千円）に対する比率は98.2%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.31円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月20日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,498,652,422円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	130,923,893
株 式(評価額)	2,351,123,966
未 収 入 金	16,604,563
(B) 負 債	24,455,682
未 払 金	3,967,815
未 払 解 約 金	20,487,566
そ の 他 未 払 費 用	301
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,474,196,740
元 本	1,178,075,281
次 期 繰 越 損 益 金	1,296,121,459
(D) 受 益 権 総 口 数	1,178,075,281口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,002円

※当期における期首元本額984,088,407円、期中追加設定元本額529,497,995円、期中一部解約元本額335,511,121円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

米国イノベーション・ファンド（年4回決算型） 957,629,038円

米国イノベーション・ファンド（年1回決算型） 220,446,243円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2021年1月21日 至2022年1月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,503,750円
受 取 配 当 金	4,520,157
受 取 利 息	473
そ の 他 収 益 金	2,020
支 払 利 息	△ 18,900
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	8,830,159
売 買 益	705,101,101
売 買 損	△ 696,270,942
(C) そ の 他 費 用 等	△ 3,205,753
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	10,128,156
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,081,090,775
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 440,962,672
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	645,865,200
(H) 合 計(D+E+F+G)	1,296,121,459
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,296,121,459

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。